

壁つなぎ控え金具「アシバツナギ」

押出成形セメント板(略称 ECP) 用等について

押出成形セメント板用壁つなぎ「控え金具アシバツナギ」の締結は、施工者が検討・工夫以外に方法が無いです。

壁つなぎ控え金具「アシバツナギ」の選択方法は下記の通りです。

- ①外壁施工時の図面で、施工状態（外壁厚さ？・下地？・空間？）を必ず確認して下さい。
- ②押出成形セメント板メーカーの商品名は、アスロック・メース・ラムダ・他が有ります。
（設計者・外壁材メーカー・仮設機材販社等に相談が必要です）
（外壁厚さ＝18.5・20・26・50・60・75・100mm等有る）
- ③「控え金具アシバツナギ」の締結が、目地からの施工が可能かを判断する
下記のカatalog「アシバツナギ押出成形セメント板用」を参考にして下さい。
https://www.iifas.jp/products/asiba_ecp.html
（角型鋼管・溝形鋼管・等辺山形鋼・木材・コンクリート対応製品を選択する）
AWS タイプ（ナット可動式）・AFS タイプ・（ナット固定式）・SM8 タイプ（ナット可動式）・
SF8 タイプ（ナット固定式）
「アシバツナギの選択と施工方法について」を参考にして下さい。
https://www.iifas.jp/asiba_how2choose.html
- ④目地からの施工が行えない場合は、「アシバツナギツインタイプ ATE-45」で締結する。
（下穴加工 5.0mm×深さ 50mm以上が必要です）
（ネジはドリル付きですが、押出成形セメント板の中空部を探り当てられない場合、ネジが機能しないので注意が必要です）
- ⑤「アシバツナギフックタイプ」は、目地からの組み込みが出来ない場合が有ります。
「押出成形セメント板縦張り工法用 ナット固定タイプ」を参考にして下さい。
https://www.iifas.jp/products/asiba_hook.html